

# 山口県感染症発生週報

(第51週:平成30年12月17日～12月23日)

## 1 全数把握感染症

### 【2類感染症】

・結核:2例(山口、宇部)

### 【5類感染症】

・後天性免疫不全症候群:1例(防府)

・侵襲性肺炎球菌感染症:第50週追加 2例(下関、防府)

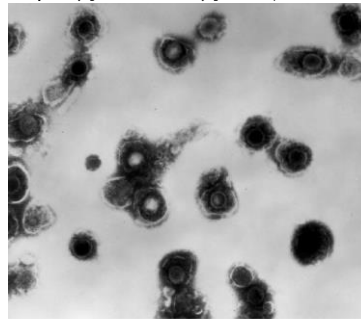
・水痘(入院例に限る。):第50週追加1例(下関)

・梅毒:1例(周南)

・百日咳:第50週追加 3例(宇部)

第51週 2例(山口、宇部)

・風しん:1例(宇部)全国的に30～50代の男性に多い状況です。風しんにかかったことがなく予防接種歴もない方は、予防接種を受けることを検討してください。



水痘ウイルス CDC/Dr. Erskine Palmer

## 2 定点把握感染症(5類感染症)

### (1)特記事項

・インフルエンザ:岩国で発生が多くなっています。迅速検査診断結果でA型陽性が224例、B型陽性が3例、臨床診断・型不明が9例ありました。

・RSウイルス感染症:下関、周南、防府で発生が多い状況です。

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:岩国で警報レベルが続いています。[警報レベル:岩国(7週目)]※

・感染性胃腸炎:周南で増加し、警報レベルとなりました。[警報レベル:周南(1週目)]※

・水痘:岩国で増加し、警報レベルとなりました。長門で警報レベルが続いています。山口で増加し、注意報レベルとなりました。萩で注意報レベルが続いています。

[警報レベル:岩国(1週目)、長門(2週目)、注意報レベル:山口(1週目)、萩(2週目)]※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。

<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuhiho.php>

### (2)週別発生状況

疾患名	49週	50週	51週	疾患名	49週	50週	51週
インフルエンザ	56	100	237	ヘルパンギーナ	12	9	1
RSウイルス感染症	16	37	37	流行性耳下腺炎	4	3	7
咽頭結膜熱	14	41	15	急性出血性結膜炎	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	137	150	192	流行性角結膜炎	15	13	4
感染性胃腸炎	427	453	525	クラミジア肺炎	0	0	0
水痘	22	27	40	細菌性髄膜炎	0	0	0
手足口病	20	19	14	マイコプラズマ肺炎	3	0	0
伝染性紅斑	13	17	23	無菌性髄膜炎	0	0	0
突発性発しん	28	26	23	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	3

### (3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	58	126	2	13	6	15	10	1	6	237
RSウイルス感染症	11	4	0	11	5	2	4	0	0	37
咽頭結膜熱	6	3	0	2	2	0	2	0	0	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	34	7	57	12	10	24	0	8	192
感染性胃腸炎	99	33	13	205	15	56	74	7	23	525
水痘	7	14	0	5	0	6	3	2	3	40
手足口病	0	2	0	0	5	1	4	0	2	14
伝染性紅斑	0	1	0	9	1	6	3	0	3	23
突発性発しん	8	2	1	5	0	4	3	0	0	23
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
流行性耳下腺炎	0	0	0	2	0	0	0	0	5	7
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3

## 3 感染症発生動向調査における病原体検出情報

・風しん:風しんウイルス1E型(検体採取週 第50週)が検出されました。

・インフルエンザ:インフルエンザウイルスA/H3N2型(検体採取週 第50、51週)が検出されました。

山口県感染症情報センター(山口県環境保健センター内)

電話:083-922-7630 FAX:083-922-7632

<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/>